指導と評価の年間計画（シラバス）

学校番号	1205
大阪府立岬高等学校　総合学科	

平成　31 年度　　水産　　科

教科	水産　　科	科目	海洋環境	単位数	2　　単位	年次	3　年次
使用教科書（出版社）	高等学校用　海洋環境　（文部科学省）						
副教材等（出版社等）							

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では海洋における環境を紹介し，海洋環境に関わる基礎的な知識を身につけます。学習方法は主にパワーポイントを使用し，実際の写真を使用しながら学んだ内容をプリントに記入します。また，環境について自身で調べて学ぶ調べ学習なども取り入れ，それをレポートとして提出することもあります。また，環境に関わる実験を行い，実際に目で見て学ぶことができます。どれだけ理解が出来ているかを測るために定期的にプリントやノートを回収します。毎回しっかりと記入しましょう。

2．学習の到達目標

海洋や陸水の環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ，水産業や海洋関連産業における環境保全に活用する能力と態度を育てる。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	海洋環境について感心をもち，自ら授業を意欲的に学ぼうとする。また海洋環境だけでなく，海洋環境が与える海洋生物について影響も意識するなど，海洋全体を広い視野で見ることができる考え方を身につけている。	海洋環境について基礎的な内容を学んだ上で，海洋環境の中に問題を見いだし，探求する課程を通して，その問題を科学的に考察し，導き出した答えを適切に表現している。	海洋環境の観察や実験などを行い，観察の仕方からレポートの学び方の基礎を修得する。そこから，観察や実験において的確に記録，整理し，海洋環境を科学的に探求する技能を身につけている。	海洋環境やそれに関する事象について，基本的な概念や原理・原則を理解し，知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4．学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	中間	海洋環境管理の概要	海洋の役割	○				a：海洋の役割やこれまでの環境問題につて興味を持ち，意欲的に探求しようとする。 b：海洋と環境問題の歴史を振り返り，その問題点について科学的に考察し，導き出した考えを表現している。 c：環境問題について探求活動を行い，課程や結果を的確に記録，整理している。 d：海洋の役割と問題について理解し，知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果
			持続可能な水産資源利用のために		○	○			
			海洋環境問題の歴史				○		
	期末	海洋・陸水環境の保全	海洋環境の保全	○			○	a：環境保全に興味を持ち，意欲的に探求しようとする。 b：海洋生物と環境の関わりあいについて学び，さらにその問題点について科学的に考察し，導き出した考えを表現している。 c：環境に関しての探究活動を行い，課程や結果を的確に記録，整理している。 d：環境保全について理解し，知識を身に付けている。	
			陸水環境の保全	○			○		
			海洋環境関係法規		○	○			
2学期	中間	栽培漁業を取り巻く環境	栽培漁業	○				a：栽培漁業に興味を持ち，意欲的に探求しようとする。 b：栽培漁業とは何か学び，それを説明することができる。さらにその問題点について科学的に考察し，導き出した考えを表現している。 c：栽培漁業に関しての探究活動を行い，課程や結果を的確に記録，整理している。 d：栽培漁業について理解し，知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果
			海洋性レクリエーション		○	○			
			栽培漁業と環境保全				○		
	期末	漁場環境と調査	漁場環境と調査	○	○			a：漁場環境とその調査に興味を持ち，意欲的に探求しようとする。 b：現在の漁場環境における問題とその解決策について学び，それを説明することができる。 c：環境調査に関しての探究活動を行い，課程や結果を的確に記録，整理している。 d：環境調査について理解し，知識を身に付けている。	
			漁場の調査	○		○			
			生物の調査	○			○		
3学期	学年末	海洋工事と環境保全	養殖場の設計	○	○			a：人工的な漁業について興味を持ち，養殖場や漁礁について意欲的に探求しようとする。 b：養殖場の設計について学び，説明することができる。また，その環境に対する影響についても学び，説明することができる。 c：人工的な漁業について探究活動を行い，その結果を記録，整理することができる。 d：漁場や漁礁について理解し，知識とその役割や技術を身に付けている。	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート内容 定期考査の結果
			漁場造成技術	○	○				
			環境改善技術			○	○		